

# 7月 ほけんだより

令和8年7月1日 こほうしこども園

7月に入り本格的な夏がやってきますが、子どもたちは大好きな水遊びやプール遊びを十分に楽しみ、すでに日焼けをして健康的です。遊びの合間には、水分補給をこまめに行ったり、テントの日陰で休んだり、熱中症対策も行っています。汗の始末もしっかり行い、清潔に過ごせるようにしていきたいと思います。



## 乳幼児ついでの下痢について

乳幼児期によくみられる下痢症状。夏風邪や胃腸炎として診断されることが多いです。

下痢といっても便の状態や回数も様々。「感染したら〇日休まなくてはいけない。」という明確な出席停止期間はありません。

厚生労働省は「嘔吐、下痢症状が治まり、普段通りの食事が摂れていること。」を登園の目安としています。下痢の症状は大人でも仕事に行くのが辛く、体のだるさを感じます。体がまだ小さく未発達な子どもなら、更に辛いはずです。

また、下痢は脱水にもなりやすく、急に体調が悪化することも。元気だからといってすぐに登園するのではなく、便の回数、便の柔らかさ、水分が摂れているかをしっかり確認しましょう。

感染することも考えられるので、ただの下痢だと甘くみず、下痢の際は小児科を受診しましょう。

無理をして登園することで、ぶり返したり更に悪化したりすることも多くあります。

大人同様、安静にして体を休め普段通り元気な状態に戻ってからプールや水遊びを思い切り楽しんでほしいと思います。



先月は、昨年に引き続き三年目となる\*CAPのワークショップを年長組・年長組の保護者・職員がそれぞれ受けました。CAPは“安心・自信・自由”という3つの柱のもと、あらゆる暴力を人権侵害と捉えています。子どもは誰でも「安心して」「自信をもって」「自由に」に生きるという3つの権利を持っていることを伝えています。

### 【職員ワークショップ】

子どもの気持ちを尊重して、“求めているのに抱っこをしたり触ったりすることはしない”という子どもたちの関りの仕方についてや、「人によっては嫌だと感じる体の部位ややり方は違う。相手が好意を持っていてくれると思うとそれを受け入れなくてはいけないと思ってしまうので、その子が嫌だと思える感覚を否定せず受け止めること。」などを学びました。CAPを通して、その子がどんなことが嫌で・どんなことが嬉しいのか一人一人の気持ちを考えて関わっていくことの大切さを、あらためて実感しました。

### 【年長組ワークショップ】

自分が不快に感じた際に「いや!」と声に出して拒否をする練習や困ったときに誰かに助けを求める方法などを3日間にわけて体験しました。

### 【年長組保護者のワークショップ】

子どもたちと同じ内容でワークショップを行い、子どもを支える一番身近な大人として、虐待についての正しい知識についての理解を深めていただきました。

**暴力とは、人のからだを深く傷つける人権侵害行為です。**  
**子どもたちが自分らしさを大切に生きていけるよう、私たちは一番身近な大人たちの一人として、子どもたちの“安心・安全・自由”を守っていききたいと思います。**

### \*CAPとは

Child Assault prevention(子どもへの暴力防止)の頭文字をとったもの。子どもたちが、いじめ・痴漢・誘拐・虐待・性暴力といった様々な暴力から自分を守るための人権教育プログラム。学校やこども園などをキーステーションとして、子ども・教職員・保護者がワークショップを行う。

タイプ1		木の实状のコロコロした便 (排便が困難)	便秘傾向
2		ソーセージ状だがでこぼこした硬い便	
3		表面にひび割れのあるソーセージ状の便	
4		軟らかいソーセージ状の便	正常
5		軟らかいが形がはっきりした半固形状の便 (排便が容易)	
6		軟らかい泥状の便	下痢傾向
7		水様の便	

### 尿検査のご協力ありがとうございました!

先月の尿検査は、朝のお忙しい時間よりご協力大変ありがとうございました。

検査の結果、異常があったお子さんは速やかに受診し受診日、医院名、受診日、その結果を担当にお知らせ下さい。その他の方は異常ありませんでした。

後期も尿検査がありますので、ご協力よろしくお願いたします。日程が決まり次第おしらせいたします。

